

## ESI[tronic] Evolution

News 2025 | 1

- **ESI[tronic] Evolution:**
  - New Tesla Vehicle Diagnostics
  - Integration of the original Tesla fault finding, maintenance, and repair instructions
  - Original documents: Expansion of vehicle brands
  - Access to “Important make information” in diagnosis

# New Tesla Vehicle Diagnostics

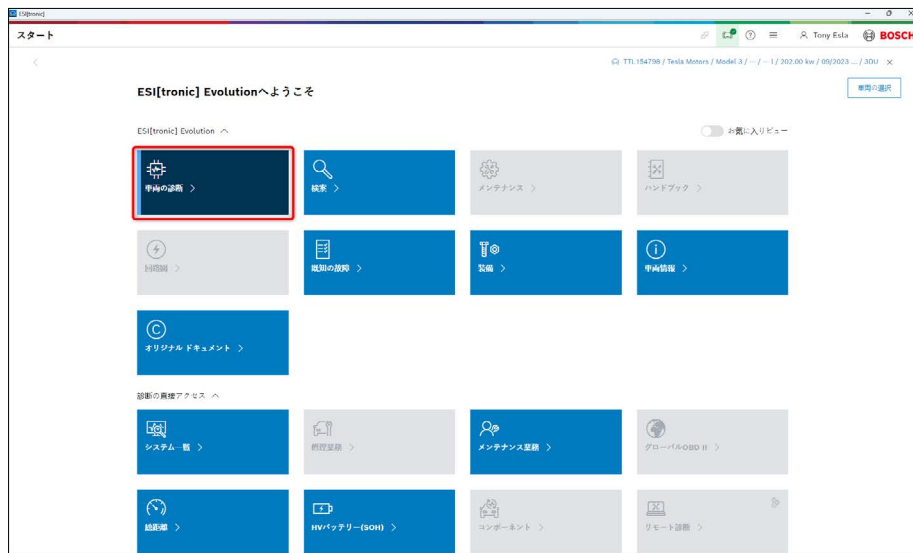


整備工場で特斯拉車を目にする機会が増えています。整備士や技術者は、特斯拉が従来の自動車メーカーとは異なる診断やサービスのアプローチを取っていることにすぐ気づくでしょう。この課題に対応するため、ESI[tronic] Evolutionでは、特斯拉車向けの新しい車両診断機能を提供します。

ESI[tronic] Evolutionは、特斯拉の新しい車両アーキテクチャに特別に適応しています。最新の特斯拉車両には、車両内のすべてのサービスおよび診断関連の処理を担当するセントラルコンピューターが搭載されており、診断ソフトウェアがこれにアクセスできます。これにより、ESI[tronic] Evolutionは、メーカーと同等の範囲で全てのサービスおよび診断作業を実行できる初の診断ツールとなりました。

車両との通信は、従来どおりKTS 560/590を使用して確立できます。ただし、モデル年によっては、特斯拉用アダプターが必要となります。というのも、特斯拉は2024年モデル以前の車両には統一された診断インターフェースを搭載していなかったからです。この新しい診断コンセプトでは、車両内のすべてのアクティブなエラー（アラート）の概要を確認できます。ファンクションタブには、車両が提供できる学習プロセス、セルフテスト、調整、テストルーチン、特別機能が含まれています。ESI[tronic] Evolutionを使用すると、実行したすべての作業を保存し、ログとして記録することができます。

# New Tesla Vehicle Diagnostics



ESI[tronic] Evolutionへのテスラ車両診断機能の統合はすでに利用可能となっており、整備工場は最も厳しい要求に応える車両の診断とサービスが可能になります。町を走るテスラ車両の増加に伴い、整備工場が最適な診断ツールを備え、顧客に最高のサービスを提供することはこれまで以上に重要です。さらに、オリジナル文書セクションでは、新しいブランドに対応するほか、改善されたユーザーインターフェースも利用可能です。新しい発見をお楽しみください!

# Integration of the original Tesla fault finding, maintenance, and repair instructions



ESI[tronic] EvolutionにTesla診断機能が導入されたことにより、Teslaの故障診断、メンテナンス、および修理手順がESI[tronic] Evolutionに統合されました。これにより、整備工場や技術者はTeslaの公式手順に単一のアプリケーション内で直接アクセスできるようになり、診断と直接連携することで、正確かつ効率的な診断、メンテナンス、修理が可能となります。

The screenshot displays the ESI[tronic] Evolution software interface, which is divided into two main sections. The left section, titled '車両の診断' (Vehicle Diagnosis), shows a list of diagnostic trouble codes (DTCs) with their corresponding status and actions. The right section, titled '現在のメモ' (Current Memory), displays detailed diagnostic information for a specific DTC, including its name, description, and associated repair instructions.

**現在のメモ (Current Memory) Details:**

名称	説明
U1_0022_ApplFailed (Service-Fc, Factory)	ドライブシャフトセンサー (EDU) が正常に動作していない、センサーが壊れている。 診断情報の入力が必要です。
U1_0023_ApplFailed (Service-Fc, Factory)	センサーが 電源オフエラー (PCS) は、通常は一時的ではなく、工場へ帰るまで修理が必要です。
GTW_0000_ApplFailed (Service-Fc, Factory)	車両ソフトウェア (GTW) は、通常は診断が完了した後に更新されています。 GTW を更新し、再起動するには再起動が必要です。
GTW_0008_InstalWayMissing (Service-Fc, Factory)	車両ソフトウェアの更新を確認するために診断が失敗しました。 車両ソフトウェア (GTW) にアクセスする必要があります。 最新のソフトウェアをインストールする必要があります。 最新のソフトウェアをインストールする必要があります。
GTW_w113_UnexpectedCanMessage (Internal)	車両ソフトウェア (GTW) は、診断中に期待外な CAN メッセージ (CAN) を検知しました。 GTW にアクセスする必要があります。 最新のソフトウェアをインストールする必要があります。 最新のソフトウェアをインストールする必要があります。

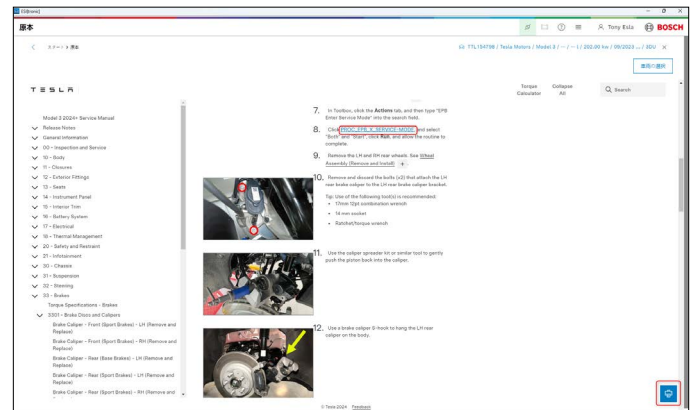
**現在のメモ (Current Memory) Details (continued):**

名称	説明
powerImpact	EDU 電圧が GTW に期待外な CAN メッセージを送信します。 修理する必要があります。
setCondition	GTW は EDU の状態を確認する CAN メッセージを送信します。
clearCondition	GTW は、EDU の状態を確認する CAN メッセージを送信します。 最新のソフトウェアをインストールする必要があります。 最新のソフトウェアをインストールする必要があります。 CAN メッセージを送信する必要があります。
isobus_Instal_Md	4852
payloadSyntax	max: 157 min: 0 name: GTW_w113_UnexpectedCanMessage (Full scale) max: 157 min: 0 name: GTW_w113_UnexpectedCanMessage (Full scale)

**車両の診断 (Vehicle Diagnosis) List:**

- HK02** 電圧不足 (IPROC\_VCL\_X\_REQUEST) (OFF)
- HK02** 冷却液不足 (IPROC\_VCRIGHT\_THERMAL) (REFRIGERANT-DISTRIBUTION) (OFF)
- HK02** 冷却液不足: 検知 (IPROC\_VCRIGHT\_THERMAL) (REFRIGERANT-DISTRIBUTION-START)
- HK02** 冷却液不足: 停止 (IPROC\_VCRIGHT\_THERMAL) (REFRIGERANT-DISTRIBUTION-STOP)
- HK02** コンプレッサー-Relay ステータス (TEST\_SELF\_VCFRONT\_X) (COMPRESSOR-FWING)
- HK02** プロパゲイター (TEST\_SELF\_VCLLEFT\_X) (BLOWER)
- HK02** 右側アクチュエーター (TEST\_SELF\_VCRIGHT\_X) (WIRE-ACTUATOR)
- HK02** 左側アクチュエーター (TEST\_SELF\_VCFRONT\_X) (WIRE-ACTUATOR)
- HK02** 右側アクチュエーター (TEST\_SELF\_VCRIGHT\_X) (CABIN-THERMOSTAT)

# Integration of the original Tesla fault finding, maintenance, and repair instructions



## Original documents: Expansion of vehicle brands



今年は、オリジナルドキュメントの機能をさらに発展させています。ユーザーフレンドリーなインターフェースのためにレイアウトを最適化しました。これにより、小型デバイスを使用している場合でも、車両選択や「オリジナルドキュメント」の操作がより簡単になります。

さらに、現在ヨーロッパでは16の著名なブランドの純正メーカー情報にアクセスできるようになりました。これにより、AdvancedまたはMasterパッケージをご利用のESI[tronic]ユーザーは、従来のSISおよびP情報タイプの実績あるコンテンツだけでなく、多様な追加の純正データにもアクセスできます。日本では、Fiatから始まり、Maybach、Mercedes-Benz、Smartが公開されました。

今後数ヶ月間、ワークショップビジネスをさらに支援するために、PSAブランドに焦点を当てて取り組んでいきます。

EUですでに公開されているブランド一覧。

- **Volkswagen**
- **Audi**
- **Fiat**
- **BMW**
- **Mini**
- **Rolls-Royce**
- **Skoda**
- **Seat**
- **Mercedes-Benz**
- **Renault**
- **Smart (excl. Smart#1/#3)**
- **Maybach**
- **Ford**
- **Dacia**
- **Alpine**
- **Cupra**

# Original documents: Expansion of vehicle brands



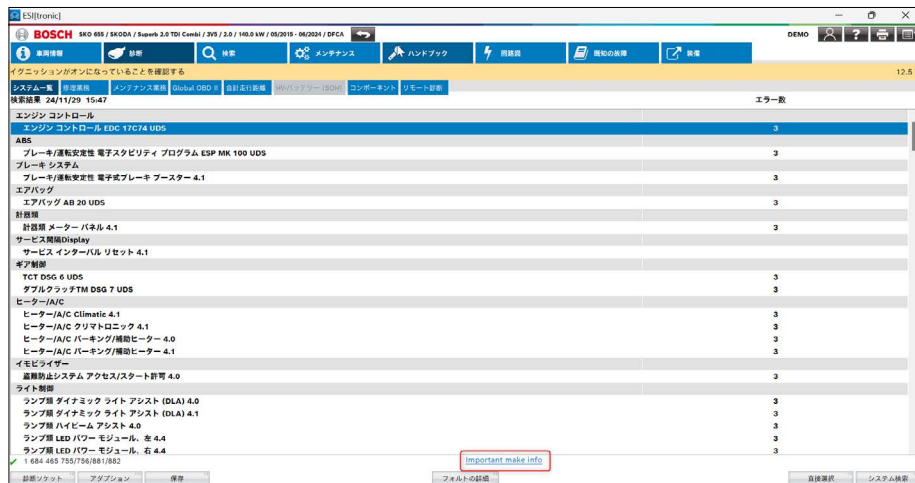
ESI[tronic] Evolutionの「オリジナルドキュメント」機能を使用すると、ワークショップでのメンテナンスや修理作業をプロフェッショナルかつ効率的に行うことができます。

この機能により、常に作業に最適な情報に迅速かつ確実にアクセスできます。

なお、「オリジナルドキュメント」機能の一部には、ブランド特有の国別制限が適用される場合がありますのでご注意ください。



# Access to “Important make information” in diagnosis

The screenshot shows the ESI[tronic] diagnostic software interface. The main window displays a list of diagnostic trouble codes (DTCs) for a vehicle. The interface includes a top navigation bar with various icons and a search bar. The main content area shows a table of DTCs with columns for the code, description, and status. A red box highlights the 'important make info' link at the bottom of the list.

エンジン	エラー数
エンジン コントロール EDC 17C/4 UDS	3
ABS	
ブレーキ/運転安定性 電子スタビリティ プログラム ESP MK 100 UDS	3
ブレーキ システム	
ブレーキ/運転安定性 電子減速ブレーキ ブースター 4.1	3
エアバッグ	
エアバッグ AB 20 UDS	3
計測値	
計測値 メーカー パネル 4.1	3
サービス機能/Display	
サービス インターバル リセット 4.1	3
ギア制御	
TCT DSG 6 UDS	3
ダブルクラッチTM DSG 7 UDS	3
ヒーター/A/C	
ヒーター/A/C Climatic 4.1	3
ヒーター/A/C クリマトロニック 4.1	3
ヒーター/A/C パーキング/補助ヒーター 4.0	3
ヒーター/A/C パーキング/補助ヒーター 4.1	3
イモビライザー	
盗難防止システム アクセス/スタート許可 4.0	3
ライト制御	
ランプ類 ダイナミック ライト アシスト (DLA) 4.0	3
ランプ類 ダイナミック ライト アシスト (DLA) 4.1	3
ランプ類 ハイビーム アシスト 4.0	3
ランプ類 LED パワー モジュール 左 4.4	3
ランプ類 LED パワー モジュール 右 4.4	3
1 684 465 755/706/81/802	

important make info

ESI[tronic]の効率的な利用促進の一環として、診断を入力すると自動的にシステム概要が開始される機能を実装しました。これにより、ユーザーの時間を節約し、診断ソフトウェアESI[tronic] Evolutionをより効率的に利用できるようになります。

この改善により、「重要なメーカー情報」リンクへのアクセスは診断ホームページからはできなくなりました。代わりに、フッターエリアにリンクが中央に配置されているので、そこからアクセスできます。



# Access to “Important make information” in diagnosis



もし希望する場合は、最小限の手間で自動スキャン機能を無効にすることができます。対応するオプションは、メインメニューの「ユーザー設定」→「診断」の中にあります。

